

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成 28 年 11 月 10 日 (2016.11.10)

【公開番号】特開 2014-206265 (P2014-206265A)

【公開日】平成 26 年 10 月 30 日 (2014.10.30)

【年通号数】公開・登録公報 2014-060

【出願番号】特願 2014-17850 (P2014-17850)

【国際特許分類】

F 1 6 H 1/32 (2006.01)

F 1 6 J 15/18 (2006.01)

H 0 2 K 7/116 (2006.01)

【F I】

F 1 6 H 1/32 B

F 1 6 J 15/18 C

H 0 2 K 7/116

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 9 月 23 日 (2016.9.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3】

装置ハウジング (31) と、

前記軸受 (35) の前記内輪 (35b) に形成した内輪中心貫通穴 (35f) と、  
を有し、

前記剛性内歯歯車 (32) は前記装置ハウジング (31) の内周部に固定され、

前記可撓性外歯歯車 (33) は前記剛性内歯歯車 (32) の内側に配置され、前記軸受 (35) を介して回転自在の状態で、前記装置ハウジングに支持され、

前記波動発生器は前記可撓性外歯歯車 (33) の内側に配置され、

前記可撓性外歯歯車 (33) の前記ボス (33c) は、前記内輪の前記内輪中心貫通穴 (35f) に装着されて、当該ボス (33c) の端面が、内輪中心貫通穴 (35f) を介して、装置軸線方向 (1a) において外側に露出しており、

前記第 1 溶接部 (38) は、前記内輪 (35b) の内周面と前記ボス (33c) の外周面の間には、前記ボス (33c) の前記端面 (33e) の側の部位に、全周に亘って形成されている、

請求項 1 または 2 に記載の波動歯車装置 (3、3A、3B)。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6】

前記中空モータ軸 (22) の中空部、前記ボス (33c) の中空部および前記波動発生器 (34) の中空部を貫通して、アクチュエータ前端面 (1c) からアクチュエータ後端面 (1b) まで延びるスリーブ (41) を有し、

前記スリーブ (41) の内周面によって、アクチュエータ前端およびアクチュエータ後端に開口しているアクチュエータ中空部 (41a) が形成され、

前記スリーブ（４１）における前記アクチュエータ前端の側に露出している前端部（４１ｂ）の外周面と前記ボス（３３ｃ）の内周面の間には、全周に亘って第２レーザー溶接部（４２）が形成され、

前記第２レーザー溶接部によって、前記スリーブの前記前端部（４１ｂ）が前記ボス（３３ｃ）に固定され、

前記第２レーザー溶接部によって、前記前端部（４１ｂ）の外周面と前記ボス（３３ｃ）の内周面の間が、液密状態に封止されている、

請求項５に記載の中空型回転アクチュエータ（１、１Ａ、１Ｂ）。